

少子高齢化が進展する中、特に高齢者人口の急増が見込まれる千葉県においては、今後、疾病構造は大きく変化し、保健・医療需要も増加すると見込まれることから、超高齢社会に対応した良質な保健医療提供体制の充実が喫緊の課題となっております。それに対応するため、2016年3月に「地域医療構想」が策定されました。2018年4月には、その実現に向けた具体的な実行計画として「千葉県保健医療計画」が策定され、千葉県立保健医療大学（本学）は保健・医療・福祉の連携拠点の一つとして位置付けられました。こうした背景をうけ、本学は唯一の県立大学として、より一層地域に根差した保健・医療・福祉の知の拠点として千葉県の取り組みに貢献していくことが期待されています。

本学は、2009年の開学よりこの10年間で、看護師、保健師、助産師の看護職、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士の保健医療の専門職として活躍する1,239名の卒業生を社会に送り出してきました。2018年度の各学科・専攻の国家試験合格率は全ての資格で全国平均を上回り、卒業生の就職進学率も100%を達成しています。この結果は、本学の卒業生は全国レベル以上の専門職能力を有し、地域・社会からも評価されていることを示しています。

これまでの10年間の取り組みを基盤に、「更なる質の向上 (Quality Improvement, QI)」を目指して3つの重点施策を掲げました。大学の基本理念の下、これらに組み、その成果を検証してQIを図っていくことにより、健康づくりの側面から千葉県の目標である「暮らし満足度日本一」に寄与する所存です。教職員、学生、卒業生の積極的な協力はもとより、これまで以上に、県民、関係機関の皆様からの温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学長 田邊 政裕

## 《大学の基本理念》

- 高い倫理観と豊かな人間性を持った人材の育成
- 健康づくりなどの保健医療に関わるすぐれた専門職の育成
- 地域社会に貢献し、保健医療の国際化に対応できる人材の育成
- 県の健康づくり政策のシンクタンク機能

## 重点施策

- ▶ 県民の健康づくりをリードする人材の育成
- ▶ 健康づくり政策に対するシンクタンク機能の強化と地域貢献
- ▶ 社会のニーズに迅速かつ柔軟に対応できる大学運営体制の構築

## これまでの取り組みと成果

### 教育

本学は開学時より、本学に特徴的な科目群である「特色科目」を配置し、地域に根差した多職種連携を担う保健医療専門職の育成をめざした。その後、「3ポリシー」\*1の策定、2度にわたるカリキュラムの大改正を経て、地域包括ケアの推進に対応できる能力を強化した第3次カリキュラムを構築した。卒業生は、高い国家試験合格率、高い就職率を維持しており、その多くが県内の保健医療施設で活躍している。

校舎・教育設備の老朽化、卒業生への継続教育の提供が課題である。

- 卒業生数 1,239 人(2009～2018 年度の累計)
  - 学生の受賞歴
    - ・第 35 回千葉県教育文化・スポーツ等功労者褒賞 (2018 年)
    - ・ライオン歯科衛生研究所賞 (2018 年、2019 年)
  - 韓国インジェ大学との交流協定締結 (2016 年)
- ≪2018 年度実績≫
- 国家試験合格率 % ( ) 内全国平均  
看護師 98.7(94.7)、管理栄養士 96.0(95.5)、歯科衛生士 100.0(96.2)、理学療法士 100.0(92.8)、作業療法士 96.2(80.0)
  - 就職内定率 100.0%
  - 県内就職率 69.0%

### 地域貢献

地域の生涯学習の拠点として、公開講座の継続的な開催、地域住民の健康づくり・保健医療専門職の質向上に資する活動を全学的体制で実施してきた。また、地域住民への歯科診療や図書館を開放し、地域に開かれた大学を目指している。

学外組織への協力を、柔軟に実施していくことが課題である。

- UR 都市機構との協定締結によるほい大健康プログラム\*2の実施 延参加者数 244 人 (2018 年度実績)
- 公開講座の延参加者数 1,488 人 (2009～2018 年度の累計)
- 歯科診療室の延患者数 28,130 人 (2009～2018 年度の累計)
- 専門職対象の講演会／研修会講師・研究指導等 128 件 (2018 年度実績)
- 国・自治体の審査会・委員会等への参加延件数 39 件(2018 年度実績)
- 地域への学生ボランティア活動  
初期医療通訳ボランティア研修／車イスラグビー体験／アルツハイマー啓発活動／千葉県こども病院での学生ボランティア 他
- 地域への教員による保健医療・ボランティア活動  
認知症を考える会アドバイザー／千葉食育ボランティア／障害者の口腔衛生指導／障がい児保育巡回指導 他

\*1 大学の教育目的を踏まえて策定する3つの方針のことで「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受け入れの方針」を指す

\*2 UR 都市機構と包括協定を締結し、学生・教員による専門職のボランティア活動(プロボノ)として UR 団地の住民に対して食・口腔・運動・交流等の健康づくりプログラムを提供している

### 研究

学内共同研究費および学長裁量経費により研究資金獲得のためのシステムを整備してきた。また、倫理審査体制、倫理教育体制の整備とともに、紀要の発行および共同研究発表会の開催等研究成果の公表の場を整備し、研究推進体制を強化してきた。地域包括ケアや介護予防など地域住民の健康づくりに資する支援方法の開発や評価に関する研究を数多く実施し、研究成果は千葉県食生活食事実践ガイドブック(グーパー食生活)などに反映されている。

政策提言につながる実証的な研究知見を継続的に創出し、シンクタンク機能が強化できる研究体制の整備が課題である。

#### ● 主な研究テーマ

- ・認知症予防／介護予防／オーラルフレイル予防
- ・生活習慣病予防／食育
- ・福祉用具の開発／運動学習／発達障害作業療法

#### ● 自治体・職能団体等との主な共同研究

- ・千葉県で働く看護職者の研修ニーズ調査 (千葉県医療整備課) 2013 年度
- ・千葉県におけるリハビリテーション専門職の需要動態調査 (千葉県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士会) 2014 年度
- ・平成 27 年県民・健康栄養調査結果の解析 (千葉県健康づくり支援課) 2016 年度
- ・介護予防体操を推進するシニアリーダーの活動調査 (千葉市) 2017 年度

#### ● 科学研究費 (文部科学省 2019 年度科学費応募実績)

- 申請率 39.5% (全研究機関 36.5%)
- 採択率 (新規) 31.3% (全研究機関 24.9%)

### 管理運営

教育・研究・地域貢献を効率よく推進するための大学運営を目指してきた。文科省設置計画履行状況等調査(AC)および大学基準協会による認証評価での指摘を踏まえ、内部質保証を確立するために、自己点検評価のしくみおよび意思決定のプロセスを見直し、2019 年度より、学長のガバナンスを強化した学内組織に再編した。

時代の要請に応じた教員組織の改編、および柔軟で効率的な大学運営を行っていくことが重要である。

- 大学基準協会認証評価：適合 (2015 年度)
- 学内組織改革 (2019 年度)

# 保健医療大学の将来に向けて



千葉県



## くらし満足度日本一



## 保健・医療・福祉満足度日本一

千葉県立保健医療大学



我々は教育, 研究, 社会貢献の更なる質の向上 (Quality Improvement) により健康づくりの側面から県民のくらし満足度の向上に寄与します

### 教育

- 医療の高度化・専門化や社会の多様化に対応できる**実践力とリーダーとしての素養**を身に付けた**人材の養成**

### 地域貢献

- 関係機関等との協働により、研究成果や知的資源を地域に還元し、**地域住民の健康づくりを支援**
- 保健医療専門職の**現任教育・キャリア形成を支援**

### 研究

- 行政や関係機関との連携・協働による**実践的研究の取組**
- 健康づくり政策に対する**シンクタンク機能の強化**

### 管理・運営

- 社会のニーズに柔軟に対応できる**教育研究組織の構築**
- **効率的な大学運営に向けた検討**

### 重点施策

千葉県保健医療計画との整合を図りながら、以下の施策について取り組んでまいります。

#### 【県民の健康づくりをリードする人材の育成】

国際化、情報化の急速な進展に伴い変動する現代社会の中、総合的な健康づくりの推進力となる人材や、実践力があり将来的に指導者となりうる人材を、時代のニーズにあわせて育成するとともに、保健医療現場のリーダーとして活躍できる高度専門職の育成をめざす。また、大学院の設置など機能充実について検討していく。

#### 【健康づくり政策に対するシンクタンク機能の強化と地域貢献】

県立大学の使命として、大学の最先端の知識や技術を活用し、行政や県内関係機関と連携・協働して実践的研究を行い、その成果を地域に還元し、県の政策運営に貢献する。  
また、大学の知的資源等のリソースを積極的に地域住民や保健医療専門職に還元するため、地域への公開講座、地域への歯科診療提供、関係機関への教員派遣など、地域への貢献・交流を進め、県の保健医療の発展に寄与する。

#### 【社会のニーズに迅速かつ柔軟に対応できる大学運営】

学長のガバナンス体制のもと、社会のニーズに柔軟に対応できる教員組織や、より効率的な大学運営について検討していく。

## 重点施策と実現に向けた取り組み

千葉県保健医療計画との整合を図りながら、以下の施策について取り組んでまいります。

### 【県民の健康づくりをリードする人材の育成】

医療の高度化・専門化や社会の多様化に対応できる実践力とリーダーとしての素養を身に付けた人材の養成

- 主体的に思考し判断できる能力と保健医療職としての適性を、多面的かつ総合的に評価できる入試選抜方法に転換
- F-GPA\*を活用し、学生の自主的な学習管理および教育の質保証のための体制を構築
- 課題解決力を高めるための自己主導型学習（アクティブラーニング）の推進
- 患者・利用者中心のケアを促進できる人材育成をめざし、地域資源の活用によるサービスマーケティング（体験ゼミナールや「ほい大健康プログラム」）を拡充
- 多様性に対応できる能力、コミュニケーション能力を高めるための教育内容を充実させるとともに、活発な多文化交流活動を推進
- 卒業生に対する教育支援やキャリア形成支援体制を整備
- 保健医療の向上に貢献していく大学として、大学院の設置など機能充実について検討

\* Functional Grade Point Average の略で、原成績評点を基に算出するため学生自身がより正しく学習成果を認識できる

### 【健康づくり政策に対するシンクタンク機能の強化と地域貢献】

関係機関等との協働により、研究成果や知的資源を地域に還元し、地域住民の健康づくりを支援

- 行政や関係機関等と連携し、研究成果を踏まえた公開講座や地域住民を対象とした出前講座等を充実
- 県民の生活の場における健康づくりに資する地域貢献事業を企画・実施（全学科による健康教育等の検討を含む）
- ソーシャルキャピタルを基盤にした介護予防プログラム（URでのほい大健康プログラム）の実施と普及活動

保健医療専門職の現職教育・キャリア形成を支援

- 職能団体と協働し、保健医療専門職のキャリアラダー研修や地域包括ケアのためのスキルアップ研修を企画・実施
- 実践現場の研究活動の支援強化（実習施設の業務研究サポート、中小規模病院の管理者対象の研究指導力向上研修の実施等）
- 専門職の現職教育支援体制および現職教育マニュアル等を整備

行政や関係機関等との協働による実践的研究の取組

- 行政や保健医療機関、地元企業、職能団体等と実践現場の課題や研究について交流できる場をつくり、産官学協働による実践的研究を推進
- 研究の活性化の基盤となる競争的資金を組織的に獲得するためにFD\*や若手研究者の支援体制を充実
- 研究成果等を社会に還元する発信力を強化（HP上に研究活動ページを開設等）
- 研究水準の向上・継続を図り、科学的根拠を施策に反映できる機能の発揮を目指す

\*Faculty Development の略。教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称

健康づくり政策に対するシンクタンク機能の強化

- 行政・関係機関等からの受託事業等によるニーズ調査や解析等を推進し、その成果を健康づくり施策に反映
- 行政・研究機関等と連携し、地域の健康政策課題に関する研究の実施
- 行政や職能団体との意見交換ができる場を通じた施策提言活動の活発化

### 【社会のニーズに迅速かつ柔軟に対応できる大学運営体制の構築】

社会のニーズに柔軟に対応できる教育研究組織の構築

- 保健・医療や教育・研究等を取り巻く環境が大きく変化する中で、大学組織（学部、学科・専攻、学内委員会、運営組織等）について、定期的に検証を行い、必要に応じて組織の見直しを検討
- 教育研究者としての資質向上を図るためのFD、大学職員としての資質および業務に関する専門性の向上を図るためのSD\*を強化
- 教職員の実績と能力を適正に評価し、動機づけできる人事評価制度を構築
- より柔軟で迅速な地域貢献かつ自律的な大学運営に向けた検討
- 魅力ある学習環境の整備の促進に向けた検討

\*Staff Development の略。教職員等が教育研究活動等の運営に係る資質を向上させるための取組の総称